

『コンパの活用』

我が社は何のためにあるのか、仕事とは何か、命を燃やす生き方とは何か？

書生ばいと思われるかも知れませんが、案外こういう“生きる原点”ともいうべきことが明確にされないまま、日常の仕事に忙殺されている人が大半ではないでしょうか。また、社長は我が社の「経営理念」を一人一人の社員の“腑に落ちる”“納得する”ところまで深く熱く、繰り返し説いているのでしょうか。

社員の定着率が良い会社は、会社への帰属意識・愛社精神・使命観が明確であり、将来に対して希望があり、方針が明確であること。次に上司は信頼でき、社長は尊敬できる人物であること。加えて、給料・福利厚生が同業他社よりも優れていることでしょう。

規則やルール、条件ばかり明文化し法的に問題ないと、社員を同志として遇するのではなく、道具や部品のように考えていては、本当の経営とは言えません。

そういう社長に限って、他人に社員の悪口を言ったり、批判したりするものです。

本当に、心から喜んで働いてくれる“社員を育てること”こそ、社長の最大の仕事です。求人募集で、即戦力が欲しいというのは間違いです。

社員を育てるために、定期的に「コンパ」を実施するのです。

社員の日頃の働きに感謝し、社員の不安や心配を聴き誠実に早く改善していく。会社の将来について具体的に語り、全員の心をつにしていけるのです。どうすれば、もっといい会社になるか、議論するのです。胸襟を開いて、本音で話すことが大事です。こうして、社員間同志、上司との関係が深く密なものになっていきます。生産性の向上は、一人一人の社員が、本気になってくれることしかないのです。

「コンパ」と、一般にいう「飲み会」は、主旨も方法も違います。

「コンパ」は、全員参加が原則。司会者、リーダーの役割もあります。議題も予め決めておきます。5～7名のグループで“車座”（椅子席は駄目）に座ります。ビールや酒は瓶を注文し、お互いに注ぎ合います（各自が自分の世界に入らないため）。業務の一環ですから残業手当は付けます。

我が社では、昨年9月から世代交代し、「第二創業」と位置づけて、“黒岩丸”が荒波の中を漕ぎ出しました。立派な二代目社長です。その社長に全幅の信頼を置いて、全員が乗組員として、それぞれの持ち場で、全力投球してもらいたいのです。

使命観に目覚め、仕事に誇りを持ち、日本の中小企業を元気にしていく。そのことを、頭では無く、心で、もっと深く腹で理解してもらうには、やはり「コンパ」が必要です。“法に叶い、理に叶い、情に叶う”と言います。やはり、いい経営には、この三点がバランスよく浸透していることが大切です。

社長も、是非「コンパ」を検討して下さい。今まで見えなかった素晴らしい社員の心に感動します。実は、社長が一番喜べるのです。



今月のポイント

人は心で動きます。